

第8回 都市環境デザインフォーラム

「気象・気候災害に適應できる都市環境デザインの実践」

日本建築学会 環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会では、都市環境・都市設備分野の研究成果や最新の知見を、建築や都市のデザインに活用することを目的として、2012年より「都市環境デザインフォーラム」を開催して広く議論できる機会を設けております。第8回目となる今回は、気候災害特別調査委員会との共催により、近年多発・激甚化する気象・気候災害に適應するための建築・都市計画において、都市環境工学（都市環境・都市設備分野）に期待される役割などについて議論を行います。

主催：環境工学委員会 都市環境・都市設備運営委員会  
気候災害特別調査委員会

後援：空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、建築設備総合協会、都市環境エネルギー協会、日本都市計画学会、日本ヒートアイランド学会（50音順）

日時/会場：11月22日（金）13：00～17：00/建築会館ホール

参加費（資料費込）：

会員 2,500円、後援団体 3,000円  
会員外 3,500円、学生 1,000円  
資料のみ：1,000円

プログラム

総合司会 原英嗣（国土舘大学）

1. 開会挨拶・主旨説明 都市環境・都市設備運営委員会 三坂育正（日本工業大学）
2. 基調講演：「気候変動適應に関する現状と今後の展望」  
（環境省地球環境局気候変動適應室 高橋一彰室長）
3. 報告「適應に向けた都市デザインの現状と課題」
  - ①気候災害特別調査委員会の活動（特別調査委員会主査・横浜国立大学 佐土原聡）
  - ②洪水に強い建物・都市のあり方（建築都市耐震研究所 田村和夫）
  - ③洪水に強いまちづくりに向けた都市計画(仮)（東京大学 加藤孝明）

休憩

4. 都市環境・都市設備分野の課題解決に向けて
  - ①「非常時と平常時を考慮した都市設備どうあるべきか？」吉田聡（横浜国立大学）
  - ②「極端な高温化への適應に配慮した都市環境気候図」 竹林英樹（神戸大学）
  - ③「暑熱環境に適應したまちづくりはどうあるべきか？」 三坂育正（先出）

5. 総合討論

「激甚化する気象・気候災害に適應する都市環境デザインに向けて」

コーディネーター：都市環境・都市設備運営委員会 主査 宮崎ひろ志（関西大学）

以上

申込方法：日本建築学会HP「催し物・公募」よりお申し込みください。申込みページ

→<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=625034>

問合せ：日本建築学会事務局 事業G 伊佐野 TEL:03-3456-2051 E-mail:isano@aij.or.jp

シンポジウムの動画配信(有料)も行っております 申込みページ→(※準備中です)

動画配信は当日の開催時間に視聴するものです。後日の視聴はできませんのでご注意ください。